

いい人になって、いいクラスを作ろう

令和6年度 1学期始業式 校長の言葉

おはようございます。新学期を迎えました。去年1年生だった人は2年生に、2年生だった人は3年生にステージが上がりました。当然、昨年よりも、皆さんが取り組むべき課題は難易度が増します。求められるものは、昨年よりもレベルの高いものとなるでしょう。しかし、その分、クリアしたときの達成感は昨年以上のものになると思います。今日からそれぞれ学年が上がったことを自覚して、新しいステージに挑戦してください。

さて、新しいクラス名簿を受け取り、皆さんはどんな感想をもったでしょうか。一人ひとり、いろいろなことを感じていると思います。以前から同じクラスだった人とまた同じになったという人もいるでしょうし、仲のよかった人と離れてしまって残念に思う人もいることでしょう。まだ話をしたことの無い人と同じクラスになって、少し不安を感じている人がいたとしてもおかしくありません。新学期のスタート時には、このようにいろいろな感じ方をしている人が集まっているのだということを、まずは全員が自覚してください。つまり、クラスはまだバラバラな人間の集まりなのです。

それを、最高にチームワークのいい、心の通った仲間集団にするのが、これからの皆さんに与えられたミッションです。毎日の学校生活や授業を通して、あるいは体育祭や合唱祭などの行事を通して、ぜひ素晴らしいクラスを作ってください。

そして、そのためには次のことを覚えほしいと思います。「いい仲間関係を作るには、最初に自分がいい人になることが大事だ」ということです。意地悪なことをしたり、人を無視したりすれば、そのクラスは居心地が悪くなってしまいます。全員がいい人であるなら、そのクラスは悪くなりようがありません。ですから、まず、自分がいい人になることを目指してほしいと思います。

では、いい人とはどうしたらなれるでしょうか。皆さんが思う、あの人はいい人だと思う人にはどんな共通点がありますか。ちょっと考えてみてください。ここでは3つだけ挙げてみます。

一つ目は、挨拶が爽やかな人です。挨拶は、目上であろうが目下であろうが、最初に気付いたほうからするのが常識です。気付いたら、声を高く張って、愛情をこめて挨拶しましょう。それだけで、相手に好印象を与えます。まず第一に、いい人になるには上手な挨拶ができるようになることです。

二つ目は、人の話をしっかり聞くことです。人はだれでも自分の話をしたがりますし、だれかが話しているのに割って入ってしまうくらい自己中心的な部分をもっています。しかし、相手のことに集中してじっと静かに聞いてくれる人を、私たちは信頼します。人の心に共感して、受け入れてあげる、そんないい人になってほしいと思います。

三つ目はネガティブなことを言わないことです。ネガティブとは否定的なという意味です。悪口や陰口、噂話など、その人がいないところでこそそそ言うのは本当によくありません。そんなことを言う

当人がどんどん悪人になってしまいます。SNS で誰かの悪口を言うのは絶対にしてはいけません。そのときの感情にまかせてうっかりしてしまうと、取り返しのつかないことになります。いじめは警察も介入する重大な事件だということを肝に銘じてください。

以上、いい人に共通する3つの特徴を挙げてみました。「爽やかな挨拶をする」「人の話をしっかりと聞く」「ネガティブなことを言わない」の3つです。さらに、以前、漫才の授業で来てくださったオックンの言葉を覚えているでしょうか。自分がおもしろい人になれば、豊かな生活を送れるというお話です。オックンは3つのポイントを教えてくださいました。

一つ目は、オーバーアクションをすること、感情に「っ」「ー」「ん」をつけて話す与会話が弾むと言っていました。二つ目は、会話は言葉だけでなくビジュアルも大事、しゃべりの内容に合わせて手と顔を動かすといいということ。三つ目は会話クイズを差し挟むこと、自己紹介のときなどに、クイズ形式にしながらしゃべると皆が盛り上がります。そんなふうに工夫してみると会話が楽しくなります。

「いい人」に加えて「おもしろい人」になることによって、仲間関係はさらにいいものになると思います。ふだんの生活の仲に意識的に取り込んでみてください。

さて、今日から新しいスタートです。明日、学校へ行くのが楽しみだと、毎日ワクワクできるような素晴らしいクラス作りを目指していきましょう。

私の話は以上です。